

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	施設全体で利用者の身体機能の低下や認知症が進行し、軽度の利用者との関わりが減り、重度の利用者介助に費やす時間が増えたため、利用者個人とコミュニケーションを取る機会が減っている。	様々な介護度の利用者がある中で、関わり の密度に差が出ることなく、お互いを尊重し 合い楽しく暮らせる環境づくりを行う。	利用者に関わる中で「見る」「話す」「触れる」こと を意識し、一回一回の関わりを大切にする。 日常生活の中で行う洗濯や掃除などを介助す る側される側ではなく、お互いに協力し合い会 えるよう声掛けを行う。	12ヶ月
2	2	施設外部との関わりが希薄で、地域との交流す る機会が少ない。社会資源の活用が乏しい。	ボランティアの活用や外出する機会を増や し、利用者がスタッフだけでなく、地域の人と の交流する機会を増やす。	地域行事のリサーチを行い、積極的に参加でき るよう努める。買い物などの外出を職員だけ で行うのではなく、利用者と一緒にすることで、外 部との関わりを絶たない様にする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。